

[094] 語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/10172>

出版情報：語文研究. 94, 2002-12-26. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

学会集報

平成十四年度 九州大学国語国文学会総会並びに研究発表会

於 九州大学留学生センター国際ホール

二〇〇二年六月二日(日)

芥川龍之介「秋」論

トルストイの影響について

河内重雄

空海真筆仮名

規範性の終焉

近代語における原因・理由の条件表現

『いろは文庫』にみえる用例を手がかりに

森哲子

平安時代消息和歌と「ふみたがへ」

ステファン ゲトフ

国学者が拓いた新体詩への道

否定の助動詞「ない」の成立小考

「とりつくろひかゝはる」考

「平家物語」諸本の琵琶関係記事

当道系諸本と非当道系諸本

元禄期地下歌人の添削資料

昭和20年代前半(1940年代後半)

福博・筑豊・山口を中心とした演劇情況について

上野洋三

被占領時代における

第五十二回西日本国語国文学会

於 佐賀女子短期大学

二〇〇二年九月二十一日(土)・二十二日(日)

「研究発表」

「ドウ」の疑問詞化

江戸時代後期の鹿児島県垂水市の文芸熟

「数」の類型

東アジア語比較から

藤井茂利

(九州大学関係者のみ)

平成十五年度九州大学国語国文学会

総会並びに研究発表会のお知らせ

平成十五年度九州大学国語国文学会を、平成十五(二〇〇

三)年六月一日(日)、九州大学留学生センター国際ホール

にて開催いたします。多数ご参加下さいますよう、ご案内申

し上げます。

なお、研究発表をご希望の方は、発表題目を平成十五年四月末日までに九州大学国語国文学会までお申し出ください。

研究発表題目等の詳細につきましては、平成十五年五月中旬にあらためてお知らせいたします。

〒八二二 八五八一

福岡市東区箱崎六 一九 一

九州大学文学部内九州大学国語国文学会

(Tel・Fax: 〇九二 六四二二 二三九五)

《規 定》

- 一、投稿は原則として九州大学国語国文学会会員に限るが、それ以外の方に投稿を依頼することもある。
- 二、投稿原稿は四百字詰原稿用紙二十枚内外を一応の規定とし、その際、二枚程度の要旨を添付されたい。
- 三、原稿の採否等については運営編集委員会に一任されたい。
- 四、刊行は年二回を原則とする。
- 五、刊行会費は現在年額維持会員四千元(各号一部配布)、通常会員二千元(各号一部配布)とする。
- 六、執筆者には別に二部を贈呈し、希望者には抜刷を実費で分ける。
- 七、会員以外の購読者は毎号ごとに誌代を納められたい。